

3 年	単元名	「こまを楽しむ」	11 時間
単元の目標	- 全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。 - 段落の役割について理解することができる。 「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 - 目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。		
日本語の目標	- こまのつくりに関連する語句の意味を知り、文章の内容が理解できる。 「段落」「問い」「答え」「中心文」「話題」などの用語を理解し、説明文の段落構成や内容をとらえることができる。		
学習課題	「問い」に対する「答え」、こまのつくりのくふう、回し方・回る様子を表にまとめる。 - こまの楽しみ方、つくり、選んだ理由とともに、こまの紹介文を書く。		
主な学習活動	- 説明文の文章中の「問い」の文を見つけ、問いに対する「答え」を読みとり、表にまとめる。 - こまの楽しみ方、つくりのくふう、回り方を、実際にそれぞれのこまを回すことや、動画を見ることを通して、文章の内容理解を深める。 1～8 段落を「はじめ」「中」「おわり」に分け、説明文の構成をとらえる。 - 説明文に出てくるこま、持っているこまの中から 1 つを選び、「こまの紹介文」を書く。		
評価の観点	- 説明文の「問い」と「答え」を読みとり、表にまとめることができた。 2～7 段落に説明がある 6 つのこまそれぞれの楽しみ方、つくりのくふう、回る様子・回し方を理解することができた。 - 説明文の段落構成について理解し、文章を「はじめ」「中」「終わり」に分けることができた。 - 選んだこまの楽しみ方、つくり、なぜ紹介したいと思ったかの理由を書くことができた。		

学習活動計画

時	内容	活動	ポイント
1	「こまを楽しむ」題名を読み、こまで遊んだ体験やこまの種類について共有する。 1 段落の内容確認 2 段落～の内容予想	- こまで遊んだ体験や知っているこまの種類について、話す一聞。 - 具体物に触れる。 1 段落を読み、「話題」「問い」を確認し、内容をノートにまとめる。 2 段落からの内容を予想する。	導入で子どもたちが「こま」で遊んだり、ふれたりした経験、を共有することによって、説明文を読むことに対する興味・関心を喚起する。
	家庭学習課題	・漢字・音読・もっている「こま」の写真をとり、学習支援アプリにはる。	
2	2 段落を読み、内容を理解する。	- 音読 「どんなこまがあるのでしょうか」(問い①)「どんな楽しみ片ができるのでしょうか」(問い②)に対する答えを 2 段落から探し、文中に線を引く。 2 段落、2 文目、3 文目の内容にも着目し、どんな内容であるか、考えを共有し合う。	文中に線を引く際に、色分けをするように促す。促す ※問い①-赤、問い②-青、つくりのくふう-緑、回る様子・回し方-黒(えんぴつ)
	家庭学習課題	・漢字・音読	
3 4 5	2～4 段落の内容をワークシートにまとめる。 ※ワークシート A	- 音読 「問い」に対する答え、「つくりのくふう」、「回し方」「回る様子」について表にまとめる。説明文の構造として、各段落の 1 文目から 3 文目に同じ項目の内容が書いてあることに注目できるようにする。【グループ】	- 具体物を操作したり、動画を見たりして、こまの動きを観察できるようにする。 「どう」「心ぼう」「表面」「くうどう」などの語句を挿絵や動画を見せながら確認する。 ※わからない語句は段落ごとに確認する。
	家庭学習課題	・漢字・音読	

6 7 8	・5～7段落の内容をワークシートにまとめる。 ※ワークシートB	・音読 ・「問い」に対する答え、「つくりのくふう」、「回し方」「回る様子」について表にまとめる。【個人➡ペア】	・2～4段落のシンプルな構造と、説明の仕方や文章での表現が異なる文をよく読み、「つくりのくふう」、「回る様子」に当てはまる表現を探し、話し合う。「たたきごま」「曲ごま」「ずぐり」の動画を見せる。
	家庭学習課題	・漢字・音読	
9	・8段落を読み、内容を理解する・	・「このように」ということばから、どの段落をまとめているかを考えて話し合う。 ・3文目の筆者の思いに触れ、筆者はどのような人物か注釈を読んで確認する。 ・1～7段落までの内容を振り返る。	・「段落」（はじめ・中・終わり）「問い」「答え」「筆者」などの用語を用いて説明することができるか、聞いて理解できているかを見とり、必要場合は支援する。 ・国語ことばカードをはる。
	家庭学習課題	・漢字・音読	
10	・1段落～8段落までの文章を「はじめ」・「中」・「終わり」に分ける。	・個人で段落構成を考えて書く。その後意見を交換する。 ・どのように段落が分けられるかを全体で確認する。 ・2段落～7段落を2つに分けるとするとどこで分けられるかを問い、話し合う。 ・「回る様子を楽しむこま」（2～4段落）「回し方・回す場所を楽しむこま」（5～7段落）で分けられることを知り、表に記入する。 ・各段落の中心文を確認する。	・「はじめ・中・終わり」を適切に分けることができた児童とそうでない児童、双方の意見（なぜそう思ったか、どこからそう思ったか）を聞き、適切な分け方が理解できるように進める。
	家庭学習課題	・漢字・音読	
11	・こまの紹介文を書く ※ワークシートC	・説明文に出てくる6つのこまの他に、個人で持っているこまも含めて、紹介したいこまの写真を選び、楽しみ片・つくり・えらんだ理由を書く。	・紹介文を書くため、教科書で学習したこまを選ぶと書きやすいことを伝える。